

「伊賀の魅力を発信していくために」

ミラノ国際博覧会に

出展します

「伊賀流忍者」発祥の地である伊賀市を世界に向けてPRし、また、伊賀の食材や物産を紹介するため、国の地域住民生活等緊急支援交付金を財源として、2015年ミラノ国際博覧会日本館に出展します。

外国人観光客の誘致をめざして

日本を訪れる外国人観光客は年間で1,000万人を超えます。2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定により、今後さらなる外国人観光客の誘致に向けた取り組みを進めていかなければなりません。

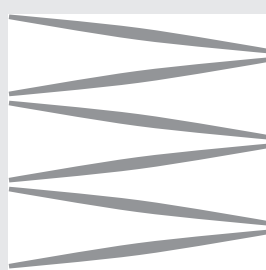
伊賀産の食材などの魅力を積極的に発信していきます

市では、現在、伊賀産の食材、物産などの魅力を国内外へ発信する各種事業に取り組んでいます。

例えば、三重県が東京都日本橋に設置しているアンテナショップ・三重テラスにおいて、伊賀の食材、物産の商談会を実施しているほか、秋には浅草での食材



▶商談会の様子



JAPAN
EXPO 2015 MILANO

▲ 2015年ミラノ国際博覧会日本館シンボルマーク

■2015年ミラノ国際博覧会

《テーマ》

「地球に食料を、生命にエネルギーを」

《ところ》

イタリア共和国ロンバルディア州ミラノ県ロー市

《とき》 5月1日～10月31日（184日間）

《想定入場者数》 約2,000万人

《参加国数など》

140カ国・国際機関

※2015年ミラノ国際博覧会公式ホームページ
<http://www.expo2015.org/it/index.html>

■2015年ミラノ国際博覧会日本館

日本人は昔ながらの農業や林業、漁業などの自然と共に生きる産業を営みながら、自然の恵みを謙虚に受けいれて暮らしてきました。また、高度な伝統工芸技術・職人技を食器や調理器具・食空間にまで反映させ、豊かな「食文化」を築き上げてきました。このような日本食文化に凝縮されたさまざまな知恵と技が、食糧問題など地球規模の課題に貢献する可能性を秘めていることを日本館で発信します。

《テーマ》 「Harmonious Diversity」 共存す

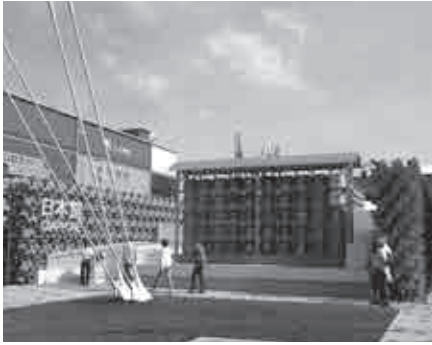
イベント「忍びの里 伊賀産を味わう2014 in 浅草」などを開催しています。

イタリアでの調査で明らかになった 地域振興への糸口

昨年度、多様な事業活動や行政施策の調査研究を目的として、イタリアのロマーニャ地方を中心に視察を行いました。

この調査の中で見られた事例として、「イタリア料理の父」として知られるペッレグリーノ・アルトゥージを顕彰し、「食文化」としてイタリア料理をテーマに世界的なネットワークを構築することで、地域振興や国内外からの誘客を促進しているものがありました。このような事例からも、食文化の国外への情報発信は、重要な施策のひとつであり、それが地域振興の発端となっていることがわかりました。

国外への情報発信は、国外からの誘客促進や物産の販路拡大といった直接的な効果のほかに、「伊賀」という地名の認知度を高めることで、地名そのものをブランド化し、国外のみならず国内における観光客の誘致や、地域の食材、物産のブランド価値を高め、販売を促進するなどの



▲ミラノ国際博覧会日本館の様子

複合的な効果が期待できます。



キーワードは「スローフード」

また、イタリアには、スローフード、スローライフという考え方が根づいています。

スローフードとは、各地域の伝統的な食文化や食材を守り、地域生活に積極的に取り入れようとする社会運動です。イタリアには、単に自らの地域の食文化や食材を大切にしようというだけでなく、ほかの地域の伝統的な食文化や食材も大切に考えていこうという風土があります。

伊賀市の魅力を発信していくために

このような考え方が根づくイタリアにおいて、丁寧に育てられ作られた伊賀産の食材、物産などを紹介することで、「伊賀市」のブランド価値を高め国内外からの誘客や地域の物産の販路拡大を促進します。

る多様性—」

※2015年ミラノ国際博覧会日本館公式

ホームページ

<https://www.expo2015.jp/>

■伊賀市の出展内容

外国人からも評価が高い伊賀忍者特殊軍団「阿修羅」の本格的なステージショーを中心に、伊賀流忍者を生み出した「秘蔵の國」ならではの食文化（伊賀牛、和菓子、伊賀酒、漬物）と、伝統的工芸品である伊賀焼、伊賀くみひもなどを世界に向けて発信します。

《とき》 6月28日(日)～30日(火) (3日間)

《ところ》 2015年ミラノ国際博覧会日本館 イベント広場

《テーマ》 「伊賀流忍者の精神と食文化」



【問い合わせ】

○ミラノ国際博覧会出展に関すること…観光戦略課
○伊賀産の食材に関すること…農林振興課
TEL 43・2302
TEL 22・9670
FAX 43・2313
FAX 22・9695